



土木學會總會晚餐會席上にて新副會長眞島博士の挨拶

土木學會定時總會の概況

一月十八日午後三時半から鐵道協會講堂に於て土木學會の定時總會が開催された。出席會員中には京城から朝鮮鐵道の松永工氏なども見えた。

總會は例年の通りであるが、丹治主事の事業報告、牧野主事の決算報告は何れも土木學會の發展を示す數字のみで、先づ學會の爲めに祝福すべきである。

次に役員改選の結果は本年満期退任の田邊會長、中川副會長、黒河内、福田、牧野、米山の各常議員に代り新に當選したるは

會長	中川吉造氏	投票數	339
	那波光雄氏	次點	
副會長	眞島健三郎氏	投票數	303
	名井九介氏	次點	
常議員	谷口三郎氏	投票數	146
同	木津正治氏		139
同	橋本敬之氏		131
同	平井喜久松氏		129

以上當選にて、留任すべき役員は八田副會長、久保田、近、眞田、前川の各常議員である。投票は菊地明、山口繁、田村與吉三氏立會の下に別室にて開票された。右開票中に會

長講演として田邊朔郎博士は

『土木工事の施工に關する設備に就て』

明治年間の文明式土木工事の施工設備に關する歴史的批評的な趣味講演をされた。博士の言ふ處一々我々工事技術者の共鳴するものであつた。會長講演後直に二階食堂で晚餐會が催された、席上八田副會長から新舊役員に對して謝辭を述べ一同乾杯して、次に中川會長、眞島副會長の答辭ありて、會長指名のテーブルスピーチに移り、先づ新潟土木所長の青山士氏のスキー禮贊の漫談に始まり、那須章彌氏例年の如くカナモジ文化を禮贊して土木學會の用語調査會に希望を述べ、之に對し田邊博士のウイットとユモアに富んだスピーチがあつて大喝采を博した。次に永田兵三郎氏は横濱市電局長として、從業員の指導修養に關し技術者離れのした經驗談を述べられた。次に

宮長平作氏は土木學會誌の編輯方針に關し、工事本位の記事の新鮮味を希望し、次に三浦宇三郎氏は札幌鐵道局改良課長時代の工事談として、小樽市海岸の埋立にハイドロリック利用に依り好成绩を挙げた事を述べ、次に久永博士及び、那波博士の談等ありて、歡談裡に散會した。